令和3年度　事務事業評価調書

施策名	文化財の保存及び活用の推進	施策コード	11101

【見直し区分】
①普及啓発　②会議等　③調査業務　④窓口業務等
⑤施設整備・維持等　⑥委託業務　⑦補助事業　⑧その他

【視点(E)(I)】
①省エネ設備の普及とエネルギー利用の効率化の促進　②再エネ導入促進、建築物の省エネ化
③次世代自動車などの導入促進　④3Rの推進による廃棄物の削減　⑤温室効果ガス吸収源対策
⑥「Smart道庁」の取組の推進による道庁における業務の効率化・省力化や多様で柔軟な働き方の実現
⑦行政のデジタル化に係る道内自治体間のノウハウの共有化の推進

【見直し状況(F)(J)(M)】
①　対応済
②　今回見直しを検討
－　対応が不要

【見直し結果（S)(T)(U)】
見直し状況(F),(J),(M)で「②今回見直しを検討」を選択した検討結果
○見直し対応　△検討継続

整理番号	枝番	重複施策	経費区分	事務事業名	見直し区分	事務事業概要	課・局室名	前年度からの繰越事業費（千円）	事業費（千円）	執行体制 うち一般財源	執行体制 本庁	執行体制 出先機関	執行体制 人工計	フルコスト（千円）	令和3年度 一次政策評価 対応方針番号 (A)	事務事業方向性 (B)	理由及び今後の対応 (C)	重点点検事業 Ⅰ ゼロカーボン 計画等位置づけ (D)	視点 (E)	見直し状況 (F)	理由 (G)	重点点検事業 Ⅱ Society5.0 計画等位置づけ (H)	視点 (I)	見直し状況 (J)	理由 (K)	Ⅲ 新型コロナウイルス感染症 該当 (L)	見直し状況 (M)	内容 (N)	Ⅳ 前年度意見 該当 (O)	対応状況 (P)	二次政策評価 意見	ACTION 結果への対応（令和4年度） 次年度方向性 (Q)	次年度対応内容 (R)	重点点検事業 見直し Ⅰ ゼロカーボン (S)	Ⅱ Society 5.0 (T)	Ⅲ 新型コロナウイルス感染症 (U)	二次政策評価 意見への対応状況
0502		－	義務費	文化財保存対策費（許認可事務等市町村交付金）	－	道指定文化財の軽微な現状変更等許可事務を行った市町村に交付するための交付金	文化財・博物館課		499	499	0.2	0.1	0.3	2,842		現状維持		－	－	－		－	－	－		－	－				現状維持					
0503		－	義務費	義務的経費(北海道文化財保護審議会)	－	北海道文化財保護審議会に関する事務	文化財・博物館課		1,253	1,253	0.2	0.0	0.2	2,815		現状維持		－	－	－		－	－	－		－	－				現状維持					
0506		－	一般	指定管理者制度導入施設に係る管理費用（埋蔵文化財センター維持管理費）	⑧	埋蔵文化財の調査研究を行い、保存・活用を図り、道民の理解を深めるための道立埋蔵文化財センター維持管理に要する負担金	文化財・博物館課		127,955	87,323	0.2	0.0	0.2	129,517		現状維持	引き続き、埋蔵文化財に関する事務を継続し、本道の文化財保護行政に資するため。	－	⑤	②	道全体として取り組むべき課題であることから、道の施設の管理者にも取組を促す予定	－	⑦	②	道全体として取り組むべき課題であることから、道の施設の管理者にも取組を促す予定	－	－			指定管理者に対し、温室効果ガス排出削減に向けた取組やICTを活用した利用者の利便性向上のための取組を求めるなど、ゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進に向け、事業内容を検討すること。	現状維持		○	○		指定管理者に対して、ゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進に向け、電力コストの削減などが確実に取り組まれるよう、指導助言に努める。
0515		－	一般	文化財保存対策費	－	・文化財保護法等に基づき、文化財の保存・活用等を図るための事業	文化財・博物館課		2,901	1,463	2.5	1.5	4.0	34,141		現状維持	文化財の指定や管理等、保存・活用等を図るための必要最低限の事業規模で実施しているため														現状維持					
	1		一般	指定文化財管理事業費	③				2,364	1,364								－	④	②	今後可能な範囲で報告書等の電子化を検討	－	⑦	②	今後可能な範囲で調査等の電子化を検討	○	②	今後可能な範囲で調査等の電子化を検討					○	○	○	
	2		一般	未指定文化財保存対策	③				99	99								－	④	②	今後可能な範囲で調査等の電子化を検討	－	⑦	②	今後可能な範囲で調査等の電子化を検討	○	②	今後可能な範囲で調査等の電子化を検討					○	○	○	
	3		一般	刀剣登録審査	④				438	0								－	①	②	今後可能な範囲で審査等の電子化を検討	－	⑦	②	今後可能な範囲で審査等の電子化を検討	○	②	今後可能な範囲で審査等の電子化を検討					○	○	○	
0516		－	一般	遺跡埋蔵文化財保存対策費	③	文化財保護法に基づき、土木工事等に対する文化財保護上の必要な指示を行うための埋蔵文化財包蔵地の調査を行うための事業	文化財・博物館課		8,044	4,022	6.6	1.2	7.8	68,962		現状維持	社会インフラ整備を目的とする開発事業等との調整を図りながら文化財を次代へ引き継いでいくため、埋蔵文化財調査を効率的に進めるため	－	③	②	今後可能な範囲で調査等の電子化を検討	－	⑦	②	今後可能な範囲で調査等の電子化を検討	○	②	調査等の電子化等により、感染防止対策を継続して実施				現状維持		○	○	○	
0517		－	一般	アイヌ文化財保存対策費	－	・アイヌ民俗技術及びユカラを記録保存、アイヌの生活用語や伝統的な風俗習慣、民俗芸能の保存伝承活動、アイヌ民俗文化財業務に携わる専門職員等を対象とした資質向上及び養成を図る事業	文化財・博物館課		9,341	4,730	0.9	0.0	0.9	16,370		現状維持	アイヌ文化財の調査・記録や保存活用及び伝承活動の支援を図るため必要最低限の事業規模で実施しているため													普及啓発事業における啓発資材のペーパレス化・電子化やオンライン開催によるCO2削減や啓発対象の拡大に向けた取組の促進など、ゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進に向け、事業内容を検討すること。	現状維持					報告書等の様式や教材、研修資料等のペーパーレス化は難しく見直しは困難であるが、引き続き検討する。
	1		一般	アイヌ民俗文化財調査費	③				5,427	2,714								－	④	②	今後可能な範囲で報告書等の電子化を検討	－	⑦	②	今後可能な範囲で調査等の電子化を検討	○	②	今後可能な範囲で調査等の電子化を検討					○	○	○	
	2		一般	アイヌ民俗文化財伝承・活用事業費	①				3,797	1,899								－	④	②	今後可能な範囲で資材等の電子化を検討	－	⑦	②	今後可能な範囲で資材等の電子化を検討	○	②	今後可能な範囲で資材等の電子化を検討					○	○	○	
	3		一般	アイヌ文化財専門職員等研修費	①				117	117								－	④	②	今後可能な範囲で思慮等の電子化を検討	－	⑦	②	今後可能な範囲で思慮等の電子化を検討	○	②	資料の電子化等により、感染防止対策を継続して実施					○	○	○	
0518		－	一般	文化財保護活動費補助金	①	文化財に対する道民の理解を深め、普及啓発事業や、展覧事業、情報発信等の事業実施に対する補助金	文化財・博物館課		4,827	4,827	0.3	0.0	0.3	7,170		現状維持	補助団体が文化財の普及・啓発事業を実施するための必要最低限の事業規模で実施しているため	－	④	②	今後可能な範囲で思慮等の電子化を検討	－	⑦	②	今後可能な範囲で思慮等の電子化を検討	○	②	今後可能な範囲で思慮等の電子化を検討				現状維持		○	○	○	団体が作成する資料等のペーパーレス化は難しく見直しは困難であるが、引き続き検討する。
0519		－	維持費	埋蔵文化財情報システム維持管理費	⑥	埋蔵文化財包蔵地に関する情報をインターネットを通じて公表し、道民に周知するための維持管理事業	文化財・博物館課		2,593	1,297	0.2	0.0	0.2	4,155		現状維持		－	④	①	委託仕様書の内容がICTを活用することとしており、対応済。	○	⑦	①	委託仕様書の内容がICTを活用することとしており、対応済。	○	①	委託仕様書の内容がICTを活用することとしており、対応済。			北海道Society5.0を推進し、未来技術を活用した多様な主体の連携による新たな価値創造を図るため、多彩な地域資源を活かした世界が憧れる観光立国北海道の更なる推進は重要であることから、取組の一層の推進を検討すること。	現状維持					公開する情報をより充実させると共に、事務の効率化を図り、取組を推進させる。
0520		－	事務	世界遺産登録へ向けた取組の推進	－	国指定史跡の縄文遺跡群や大規模竪穴住居跡群の世界文化遺産への登録へ向けた取組の推進	文化財・博物館課		0	0	1.0	0.0	1.0	7,810		現状維持	登録が実現した縄文遺跡群は、教育的活用を通じて次世代の保護活動を担う人材育成に取り組む必要があるため 大規模竪穴住居跡群は、包括的保存管理と情報発信の取組を進める必要があるため	－	－	－		－	－	－		－	－				現状維持					
0521		－	事務	文化財に親しむ機会の提供と情報の発信	－	文化財を学校教育や社会教育の場において活用する機会や、子どもたちや地域の人々が文化財に親しむ機会を提供するとともに、文化財に関する多様な情報の発信の取組	文化財・博物館課		0	0	0.2	0.1	0.3	2,343		現状維持	文化財に対する道民の理解を深めるため、文化財の積極的な公開や情報発信等を行っていく必要があるため	－	－	－		－	－	－		－	－				現状維持					
0522		－	事務	日本遺産認定に向けた取組の推進	－	地域の文化財の日本遺産認定に向けた市町村の主体的な取組に対する支援等を行う	文化財・博物館課		0	0	0.9	0.1	1.0	7,810		現状維持	日本遺産認定地域や認定候補地域を構成する文化財群を活用した取組を支援する必要があるため	－	－	－		－	－	－		－	－				現状維持					
0524		－	一般	文化財保存対策費（北海道ふるさと民俗芸能伝承事業費）	－	民俗芸能の保存団体や市町村に対し、他団体との交流の機会や他県の先進的な取組に触れる機会を提供する	文化財・博物館課		1,803	1,803	0.4	0.9	1.3	11,956		終了	R3までの事業であるため	－	－	－		－	－	－		－	－				終了					
計								0	159,216	107,217	13.6	3.9	17.5																							

■令和４年度　新規事業